

女性のなやみとDV相談室より

ドメスティックバイオレンス(DV)は、配偶者もしくは恋人など、親密な関係のパートナーからの暴力で、家庭という密室あるいは親密な関係の中で生じるため、周囲にわかりにくく、女性が我慢を重ねていく中で、長期化・深刻化する傾向にあります。精神的・経済的・性的暴力は、特に表面化しにくい傾向があります。

少しでも思いあたらしたら、早期に専門の相談機関で相談を受けることが重要です。

初期のDV兆候とは

結婚・同居したカップルには、DVを発生しやすい時期があります。

①同居を始めた直後の時期

実際には優しくだったが、同居したとたん「俺の言うことを聞け」と高圧的になることがあります。背後に、女性(妻)は男性(夫)の言うことを聞くべきという考え方があります。

②妊娠中・出産後

妊娠中、家事や夫の世話が十分にできないことへの不満が暴言になることがあります。出産後、こども中心の生活に対して「俺のことをないがしろにして」と暴言が始まるこ

事例

精神的暴力の一例をご紹介します。特定の個人の体験ではありません。

相談者Aさんは、夫と9カ月の長男と3人暮しです。

交際中は優しい人

Aさんは30代。同世代の夫と、2年前に結婚しました。夫は交際中、Aさんの気持ちや意見を尊重し、愛想が良く誰にでも気を遣ういい人でした。

入籍後、夫の態度が一変

入籍時、Aさんは仕事を続けたかったけれど、夫の強い希望で退職しました。Aさんが今まで通り自分の意見や気持ちを表現すると、夫は「偉そうなこと言うな。これから俺に口応えするな」と怒鳴り、物を足元に投げつけました。

③専門主婦になった時
「俺が食わせているから、言うとおりにしろ」などの言動が始まる場合があります。共稼ぎの場合、女性が育児休暇を取得中、同じような状況になることもあります。

このように、夫との経済的な格差が生じる時期、こどもが生まれて家族形態が変化する時期に、夫が妻への支配を強める手段として、暴言、暴力、束縛、その他のコントロールが生じる傾向が見られます。

妊娠がわかりました。こどもが生まれたら夫が結婚前のように優しい人に戻るかもしれないと期待しました。しかし、妊娠中、体調が悪い時も、夫が家事を手伝うことはありませんでした。

出産後、暴言がエスカレート

出産後、体調が十分に戻らない頃から、夫は「俺の飯や風呂の準備が遅い」「こどもの泣き声がうるさくて眠れない」「お前が俺を怒らせる」など、事あるごとに怒鳴るようになり、夫の顔を見たり声を聞いたりすると恐怖がよみがえり、夫の帰宅時には身体が固まるようになりました。夜もよく眠れなくなりました。



両親に相談すると「真面目に働いていて、手を挙げるわけではないから、こどものためにも、うまくやりなさい」と諭されました。長男は夫の罵倒する声を聞くと、大泣きするようになり、こどもからも責められていた感じがして、どうしたらいいかわからなくなり、困り果てていました。

チェックシートでDVに気づく

以前、切り取っておいた「ことうの女性」のDVチェックシートを思い出し、チェックしてみると、該当する項目がたくさんありました。もし「かしたらDV?」と思えば、勇気を出して電話して相談予約をとり、来所しました。

面接で気持ちを受け止められた

相談するなかで、久しぶりに自分の気持ちをそのままた話し、受けとめてもらいました。夫の言動は精神的な暴力であり、自分が悪いわけではないこと、結婚後、夫から責められる毎日、自分に自信が持てなくなっていたことにも気付きました。これまで、わけがわからない苦しさや悩んできましたが、気持ちが整理され、少し心が軽くなった気がします。

相談を続けながら将来を考える

Aさんは経済的な不安や、こどもの将来を考え、今すぐ離婚を考えていません。相談を続けて行く中で、少しずつ自分への自信を取り戻し、将来に向けての自分の気持ちや考えを整理しているところだ。



相談では、夫から抑えつけられ否定されてきた、自分の気持ちや考えをそのまま表現することができません。その体験を通して、相談者は自分の感情や感覚とつながりを取り戻し、自分への信頼を徐々に回復していきます。

そして、自分を大切にできるようになってくると、自分を尊重した視点で物事を考え行動するようになり、本来その人が持つ力を発揮できるようになります。DVを長期化しないために、

少しでもおかしいな...と思っ た時点で、一人で抱えないで、専門機関に相談してみましよう。また、周囲の皆さんもこのような相談を受けたり、DVの可能性があるので、と思つたら、家族や友だちだけで何とかしようとせず、速やかに専門機関へ情報提供を行ってください。

女性のなやみとDV相談室では、相談を受け付けています。まずは、お気軽に電話をかけてください。秘密は厳守します。

LET'S CHECK! あなたの夫・親密な関係にある人は...

経済的暴力

- 生活費を必要な額、渡さない。
- 出費を細かくチェックする。
- 家の財産を知らせない。
- 仕事を辞めさせない・仕事を辞めるように言う。
- 浪費・借金をする。
- 女性名義で借金をさせる。

性的暴力

- 性行為を強要する。
- 避妊に協力しない。
- 性的な映像を見せる。

精神的暴力

- 自分の思い通りにならないと、不機嫌になる。
- 見下したり、人格を否定することを言う。
- 自分がダメな人間だと思わせる。
- 一方的に自分本位で物事を決める。
- 無視する。
- 事実を捻じ曲げたり、矮小化して、混乱させる。
- 浮気をしていると、相手を責める。
- 実家へ行くことや、友だちに会うことを嫌がる。
- 何時間も説教し、眠らせない。
- 自分の失敗や問題を相手のせいにする。
- 大切にしているものを壊す。
- 二言目には、「離婚だ」という。(脅し)
- 「自殺する」と脅す。
- 「男は・女は、こうあるべき」という。

※上記の項目で一つでも当てはまったら、二人の関係を見直してみましょう。一人で悩まず専門機関へ相談してください。